

## 市民部会からの報告（概要）

### Ⅰ まち歩きワークショップ（第Ⅰ回市民部会）結果概要について

#### (1) 開催概要

表1 開催概要

目的	府中市バリアフリー基本計画に定めた特定事業等の推進のため、市民参加による現地確認・意見交換を行う「まち歩きワークショップ」を開催
日程	令和7年7月14日(月)10:00～12:00
対象施設	東府中駅周辺重点整備地区 市道(経路番号③)平和通り(京王線東府中駅北側)
班構成	2班構成(1班10名程度) 23名 ・市民部会委員(大門部会長、能松委員、河井委員、高野(淳)委員、太田委員、阿部委員、荒金委員、高野(佳)委員) 8名 ・障害者団体(府中市聴覚障害者協会・府中視覚障害者福祉協会)の会員 3名 ・事務局(計画課職員4名、委託事業者4名) 8名 ・施設設置管理者(道路課) 4名
内容	複数班に分かれて現地を確認・点検し、各施設の利用しやすい点や課題点などを確認。その後の意見交換では、確認した施設のバリアフリー状況に関する意見を他のメンバーに共有

#### (2) 主なご意見

平和通り

■意見・指摘事項(◎:良い点 △:課題として指摘された点 ☆:その他の意見)

項目	意見内容
段差・舗装	◎段差がほとんどなく、車いすの通行に問題ない。 △視覚障害者は、横断歩道の歩車道境界の段差がわかりにくい。
視覚障害者誘導用ブロック	◎誘導用ブロックが連続設置されていて歩きやすい。 △誘導用ブロックの急な曲がりがないように検討する必要がある。 <a href="#">写真1</a> △マンホールの上の誘導用ブロックが途切れていたり、向きが合っていないかったりするところがある。 <a href="#">写真2</a>
横断歩道・信号機	△音響式信号機が整備されていない。 △エスコートゾーンをつけてほしい。
自転車通行	△自転車のスピードが速いので、自転車運転マナーの啓発が必要である。
案内	◎府中市美術館の案内表示が、車いすで見やすい位置にあった。
その他	◎工事現場の入り口に緑と白のらせん模様のカバーがついており、弱視の人などにとって視覚的に工事中であることがわかりやすくよい。 △車止めが多くある。特に夜間の視認性が低いため、ぶつかる可能性があり、危険である。

写真1

(誘導用ブロックの急な曲がりの箇所)



写真2

(マンホールで誘導用ブロックが途切れている例)



## 2 福祉まつりへの出展結果概要について

府中市バリアフリー基本計画や心のバリアフリー等の周知・啓発のため、「第45回福祉まつり」に出展し、府中市バリアフリー基本計画の概要や配慮事項、心のバリアフリーに関するパネルを設置しました。また、バリアフリーに関連したICT例の紹介としてコード化点字ブロックの体験や、市内のバリアフリー化整備の写真(トイレ・鉄道駅・道路など)を掲載し、どこにバリアフリーの工夫がされているか等についてクイズ形式で周知・啓発を行いました。

### (1) 開催日程等

日時:令和7年10月19日(日) 10時から16時まで

会場:けやき並木通りフォーリス前

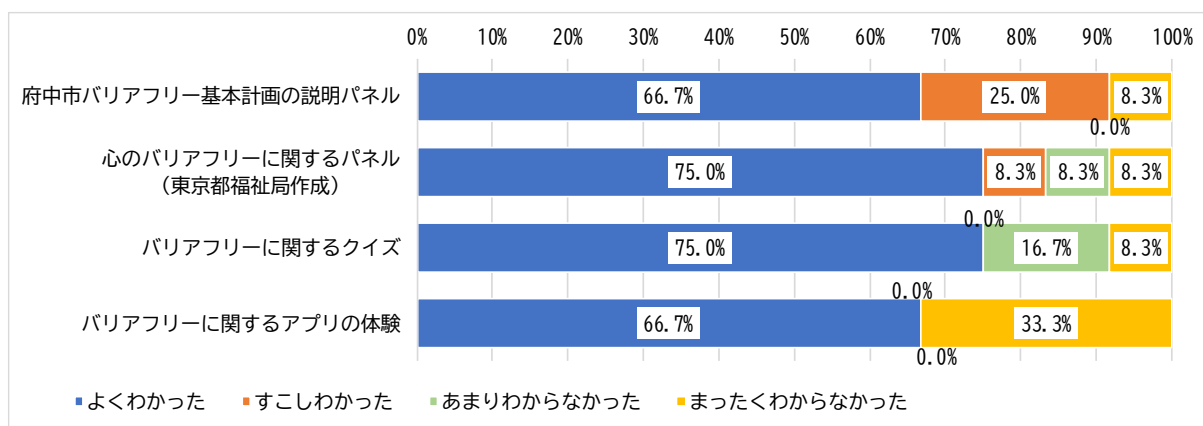


出展ブースの様子

### (2) 主なご意見

府中市の取組や考え方に関する理解度についてアンケート調査を行い、12名の方々から回答を頂きました。

#### 【アンケート結果の集計】



※体験していない人を含む

図1 理解度

表2 主なご意見(現地で聞き取った内容も含む)

- ・ 狭い歩道では、歩道ブロックや段差、木の根上がりなどでつまづく。
- ・ 信号がすぐに赤になってしまい、車椅子や高齢者が渡りきれない。
- ・ 車椅子の人は歩道と車道との段差が高く、登れない。特に、府中駅のバスロータリーの降車場は縁石の段差が高過ぎて登れない。
- ・ 雪が降ると、アイスバーンになって危険なところがある。
- ・ 雨の日には、石・タイル舗装・ゴム等の歩道の材質や、落葉によって滑って転んでしまう。
- ・ あんず通りの歩車道の切下げが車椅子だと通りにくい。
- ・ 中河原駅の北側にある歩道橋は、バリアフリーになっていない。
- ・ けやき並木通りは、視覚障害者誘導用ブロックの凹凸と舗装の凹凸の区別がつかない。
- ・ すずかけ通りがでこぼこで歩きにくい。
- ・ 公園入口の車止めのせいで大型車いすが通行できない。
- ・ 自転車のマナーが悪い。
- ・ 視覚障害者が読めるように、資料や書籍等の DAISY 図書(国際標準規格のデジタル録音図書)化を進めてほしい。
- ・ 今後のバリアフリーの推進に期待する。
- ・ 府中市における取組をよく理解できた。クイズはよく練られていて、駅やトイレ、道路など気付きの多い内容だった。

### 3 第2回市民部会について

#### (1) 開催日程等

日時:令和7年12月11日(木) 14時00分から15時38分まで  
会場:府中駅北第2庁舎 6階打合せ室

#### (2) 実施内容

府中市バリアフリー基本計画では、「市民一人ひとりの心のバリアフリーの推進による社会的障壁の除去及び共生社会の実現」を基本方針として定めています。

今後は、この基本方針を基に、各委員が所属団体・事業所の活動状況などを報告しながら意見交換を行い、協議会における相互理解を深め市民に発信することで、心のバリアフリーの推進につなげていきます。

第2回市民部会では、前述したまち歩きワークショップ及び福祉まつりの結果や、心のバリアフリーの推進、次年度以降の基本計画の進め方について、意見交換を実施しました。いただいたご意見及び対応については、参考資料2に示します。

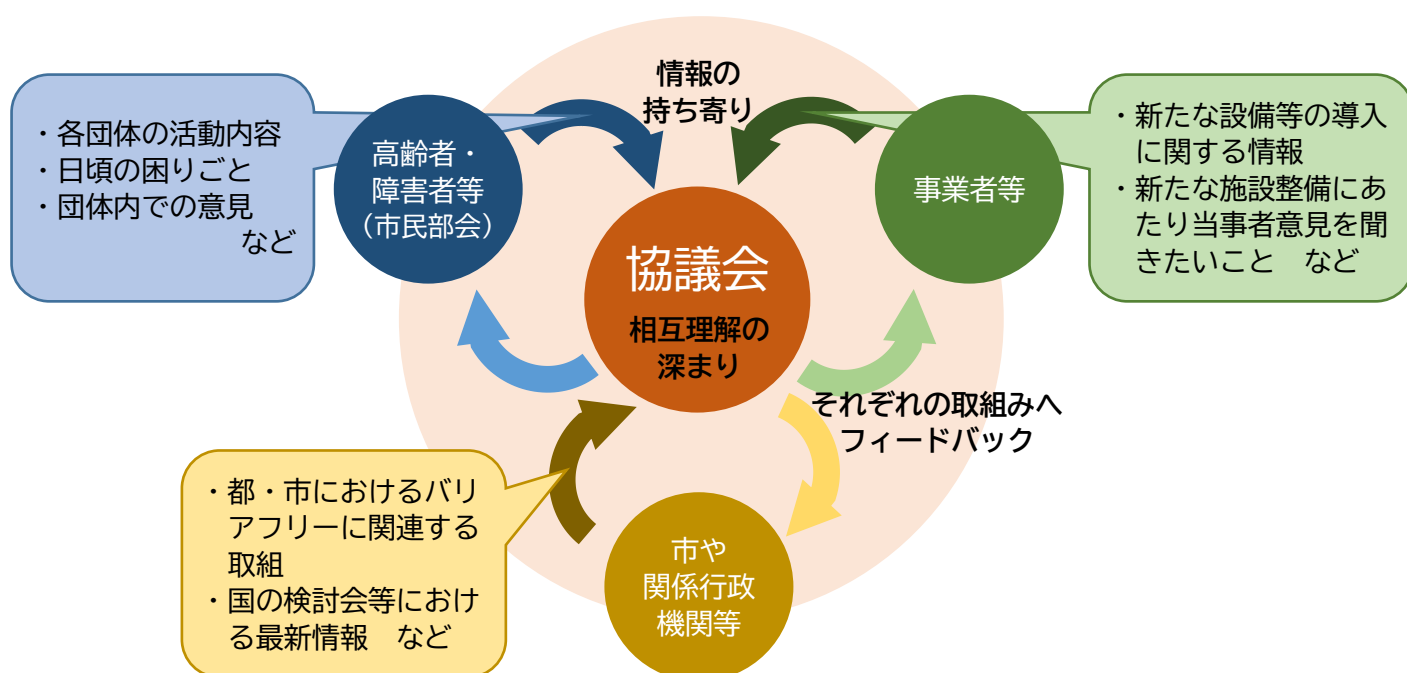
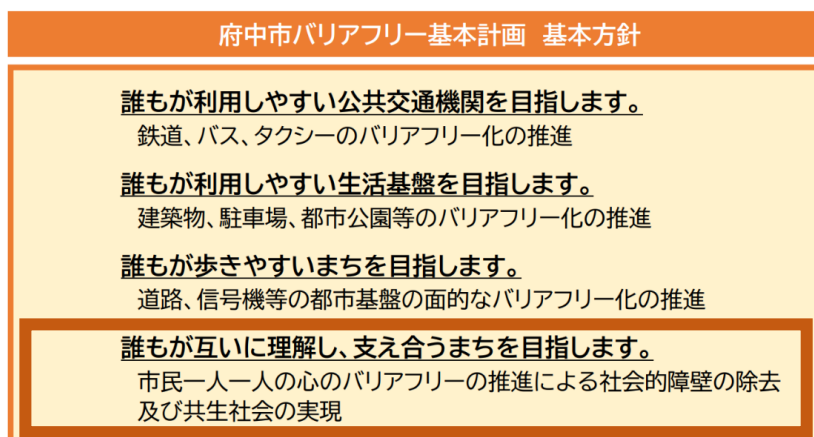


図2 協議会における意見交換のイメージ

### (3) 協議会における意見交換の方法

表3 意見交換の方法

項目	委員意見
意見交換のあり方	相互意見交換は重要であるが、当事者意見はハード面のことに寄りがちなため事業者側の運用のしかたなど具体的な提案があった方が意見を出しやすいと考える。団体の活動報告にしてもテーマを絞らないと意見が出しにくい。事前に手続きを踏んだ方が意見交換のねらいが定まるのではないかと。
バリアフリーの説明方法	バリアフリーは「障壁をなくす」という意味と考えるが、団体などでどのようにバリアフリーを説明すればよいか。
検討段階からの当事者参画	困ったときに当事者に聞くということだけでなく、検討段階から当事者がチームに入っていることが大事である。ハード面の整備が充実するほど心のバリアフリーの視点が抜け落ちる恐れもある。
障害特性の周知	当事者を知ってもらうことが大事だと考えている。視覚障害者は多機能トイレを使うものと思われているが、実際には使いにくかったり、エレベーターよりエスカレーターの方が移動しやすかったりということもある。その人の障害がどういうものかということを知ってほしい。
相互理解の場	福祉まつりパネルの3枚目(広報東京子ども版)に「困っている人を見かけたときに何もしなかった理由」の理由第一位として「手助けをしていいものかわからなかったから」という内容があるが、当事者がなぜ手助けをして良かわからなかったのかを聞く機会があるとよい。需要と供給を合わせるように価値観のすり合わせができるとよい。